

御製 五首

平成十八年

大雪

年老いし人あまた住む山里に雪下ろしの事故多きを憂ふ

三宅島

ガス噴出未だ続くもこの島に戻りし人ら喜び語る

タイ国国王陛下即位六十年記念式典

六十年むそとせを国人くにびとのため尽されし君の祝ひに我ら集へり

孫誕生

我がうまあご生れしを祝ふ日高路ひたかぢの人々の声うれしくも聞く

えりも岬

吹きすさぶ海風に耐へし黒松を永年ながとしかけて人ら育てぬ

御製 五首

平成十八年

大雪

年若いし人あまた住む山里に雪下ろしの事故多きを憂ふ

平成十七年の暮れから十八年初頭にかけて豪雪が続き、北海道・東北地方を中心に高齢者による除雪中の事故などが数多く発生した。

三宅島

ガス噴出未だ続くもこの島に戻りし人ら喜び語る

平成十二年の噴火により全島避難した三宅島島民は、四年半を経た十七年二月、島内復帰を開始した。それから一年を経過した本年三月、両陛下は三宅島の現状をご視察された。

タイ国国王陛下即位六十年記念式典

六十年<sup>むそとせ</sup>を国人<sup>くくにびと</sup>のため尽されし君の祝ひに我ら集へり

平成十八年六月、両陛下はタイ国国王陛下御即位六十年記念式典に、各国の国王および王室の方々などと一緒に招かれになり、バンコクの式典にご参列になった。

孫誕生

我がうまご生れしを祝ふ日高路の人々の声うれしくも聞く

九月六日、両陛下は国際顕微鏡学会議にご臨席のため滞在中の札幌で、皇孫殿下ご誕生の報をお受けになった。翌日より丸二日をかけて襟裳岬をご訪問になったが、その途次、日高路の沿道やご訪問先で大勢の祝福をお受けになった。

えりも岬

吹きすさぶ海風に耐へし黒松を永年かけて人ら育てぬ

両陛下には、襟裳岬の緑化事業について、平成五年の朝日森林文化賞受賞者のお話しを契機に、ご関心を寄せてこられたが、この九月、北海道行幸啓の機会にこの地をご訪問になり、緑化事業従事者からその労苦をお聞きになっておられる。

第五十七回全国植樹祭

岐阜県

種々の木々生ふる森になさむとぞ四美しのみに集ひて苗木植ゑける

第六十一回国民体育大会

兵庫県

大いなる地震なみゆりしより十年ととせま余り立ち直りし町に国体開く

第二十六回全国豊かな海づくり大会

佐賀県

眼前に有明海は広がりに今年生まれしむつごろう放つ

皇后陛下御歌 三首

平成十八年

初場所

この年の事無く明けて大君の相撲すまひの席まに在せるうれしさ

月の夜

初うひにして身こもるごとき面輪おもわにて胎動たいたうを云ふ月の窓辺まどべに

帰還

サマワより帰り来まさむふるさとはゆふべ雨間あめまにカナカナの鳴く

皇后陛下御歌 三首

平成十八年

初場所

この年の事無く明けて大君の相撲の席に在せるうれしさ

両陛下は平成十八年一月、お揃いで大相撲をご覧になった。御歌は、この年が平穩に明け、陛下が恒例の初場所におでましになったこと、安堵と喜びをお詠みになったもの。ちなみに在ペルー日本国大使公邸で人質事件のあった翌年の平成九年、および陛下がご手術のため入院された平成十五年には、両陛下の初場所のお出ましはない。

月の夜

初にして身ごもるとき面輪にて胎動を云ふ月の窓辺に

平成十八年二月、秋篠宮妃殿下のご懐妊が発表された。この御歌は、第三子とはいえ久々のご懐妊であったため、あたかも初めてのお子さまであるかのような少し緊張したご表情で、妃殿下が皇后さまに胎動を告げられるご様子をお詠みになったものである。

帰還

サマワより帰り来まさむふるさとはゆふべ雨間にカナカナの鳴く

サマワの自衛隊員に、両陛下は長い間御心を寄せておられた。この御歌は、隊員の帰国が決まり、ホッとされたお気持ち、雨間に鳴くヒグラシの声に託してお詠みになったもの。